

結果の概要

1 昼間人口

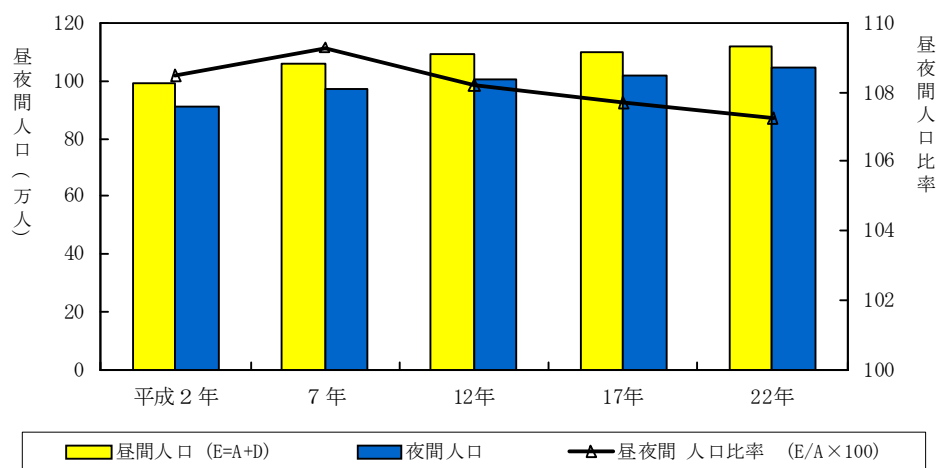
平成 22 年 10 月 1 日現在、仙台市を従業地・通学地として他市町村から流入する人口は 127,882 人、仙台市内に常住し市外を従業地・通学地として流出する人口は 51,903 人で、流入人口から流出人口を引いた流入超過人口は 75,979 人となっています。仙台市の常住人口（夜間人口）は 1,045,986 人で、これに流入超過人口を加えた昼間人口は 1,121,965 人となり、前回（平成 17 年）と比較して 22,984 人増加しています。また、昼夜間人口比率は 107.3 と前回に比べ 0.4 ポイント低下しています。

表 1 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移

年次	夜間人口 (常住人口) (A)	流入人口 (B)	流出人口 (C)	流入超過人口 (D=B-C)	昼間人口 (E=A+D)	昼夜間 人口比率 (E/A×100)
平成 2 年	912,108	110,244	32,669	77,575	989,683	108.5
7 年	969,971	131,173	41,251	89,922	1,059,893	109.3
12 年	1,007,628	131,489	48,955	82,534	1,090,162	108.2
17 年	1,020,160	132,564	53,743	78,821	1,098,981	107.7
22 年	1,045,986	127,882	51,903	75,979	1,121,965	107.3

* 夜間人口、昼間人口には労働力状態不詳を含む。

図 1 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移



2 仙台市を従業地・通学地とする就業者・通学者

仙台市を従業地・通学地とする 15 歳以上の就業者及び通学者は 601,925 人で、前回に比べ 14,111 人 (2.3%) 減少しています。このうち就業者は 517,698 人、通学者は 84,227 人で前回に比べそれぞれ 4,630 人 (0.9%)、9,481 人 (10.1%) の減少となりました。

就業者を常住地別にみると、市内が 405,955 人（仙台市を従業地とする就業者の 78.4%）、市外が 103,745 人（同 20.0%）となっており、前回と比較すると、市内が 10,241 人 (2.5%)、市外が 2,387

人（2.3%）の減少となりました。

通学者を常住地別にみると、市内が 59,485 人（仙台市を通学地とする通学者の 70.6%）、市外が 23,562 人（同 28.0%）となっており、前回と比較すると、市内が 8,371 人（12.3%）、市外が 2,290 人（8.9%）の減少となっています。

表 2 本市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地別内訳

常住地	就業者数				通学者数			
	平成22年	平成17年	増減数	増減率(%)	平成22年	平成17年	増減数	増減率(%)
市内	405,955	416,196	-10,241	-2.5	59,485	67,856	-8,371	-12.3
自区	246,099	235,865	10,234	4.3	38,215	41,171	-2,956	-7.2
自宅	29,093	34,889	-5,796	-16.6	-	-	-	-
自宅外	217,006	200,976	16,030	8.0	38,215	41,171	-2,956	-7.2
他区	159,856	180,331	-20,475	-11.4	21,270	26,685	-5,415	-20.3
市外	103,745	106,132	-2,387	-2.3	23,562	25,852	-2,290	-8.9
県内他市町村	96,210	97,773	-1,563	-1.6	18,701	20,358	-1,657	-8.1
他県	7,535	8,359	-824	-9.9	4,861	5,494	-633	-11.5
計	517,698	522,328	-4,630	-0.9	84,227	93,708	-9,481	-10.1

* 合計には従業地・通学地不詳を含む。

3 仙台市を常住地とする就業者・通学者

仙台市に常住する 15 歳以上就業者・通学者は 526,315 人で、前回に比べ 11,328 人（2.1%）減少しています。このうち就業者は 459,480 人、通学者は 66,835 人で、前回に比べ、就業者 3,986 人（0.9%）、通学者 7,342 人（9.9%）の減となりました。

就業者について従業地別にみると、市内が 405,955 人（仙台市に常住する就業者の 88.4%）、市外が 45,527 人（同 9.9%）となっており、前回と比較すると、他県が 1,585 人（24.3%）減少しました。通学者について通学地別にみると、市内が 59,485 人（仙台市に常住する通学者の 89.0%）、市外が 6,170 人（同 9.2%）となっており、前回と比較すると、市内が 8,371 人（12.3%）、県外が 115 人（13.8%）減少しました。

表 3 市内に常住する 15 歳以上就業者・通学者の従業地・通学地別内訳

従業地・通学地	就業者数				通学者数			
	平成22年	平成17年	増減数	増減率(%)	平成22年	平成17年	増減数	増減率(%)
市内	405,955	416,196	-10,241	-2.5	59,485	67,856	-8,371	-12.3
市外	45,527	47,270	-1,743	-3.7	6,170	6,321	-151	-2.4
県内他市町村	40,589	40,747	-158	-0.4	5,453	5,489	-36	-0.7
他県	4,938	6,523	-1,585	-24.3	717	832	-115	-13.8
計	459,480	463,466	-3,986	-0.9	66,835	74,177	-7,342	-9.9

* 合計には従業地・通学地不詳を含む。

4 市町村別にみた流入人口

仙台市を従業地・通学地として他市町村から流入する 15 歳以上人口 127,307 人について、常住市町村別にみると、名取市が 16,785 人で最も多く、次いで多賀城市が 14,330 人、以下、富谷町 13,723

人、塩竈市9,756人などとなっています。

これを前回と比較すると、富谷町が1,253人(10.0%)、名取市が761人(4.7%)、利府町が428人(5.3%)の増加となっている一方、亶理町が619人(12.8%)、大崎市が582人(9.3%)、塩竈市が550人(5.3%)の減少などとなっています。

流入先を県内、県外別にみると、県内が114,911人、県外が12,396人で、前回と比較すると、県内は3,220人(2.7%)、県外は1,457人(10.5%)の減少となっています。

表4 常住地別仙台市への15歳以上人口流入人口

常住市町村	平成22年			平成17年			平成17年～22年の増減			増減率(%)		
	総数	就業	通学	総数	就業	通学	総数	就業	通学	総数	就業	通学
名取市	16,785	14,281	2,504	16,024	13,651	2,373	761	630	131	4.7	4.6	5.5
多賀城市	14,330	12,928	1,402	14,767	13,294	1,473	-437	-366	-71	-3.0	-2.8	-4.8
富谷町	13,723	12,030	1,693	12,470	10,956	1,514	1,253	1,074	179	10.0	9.8	11.8
塩竈市	9,756	8,382	1,374	10,306	8,860	1,446	-550	-478	-72	-5.3	-5.4	-5.0
利府町	8,542	7,307	1,235	8,114	6,947	1,167	428	360	68	5.3	5.2	5.8
岩沼市	6,573	5,439	1,134	6,764	5,514	1,250	-191	-75	-116	-2.8	-1.4	-9.3
大崎市	5,659	4,412	1,247	6,241	4,834	1,407	-582	-422	-160	-9.3	-8.7	-11.4
亶理町	4,214	3,391	823	4,833	3,834	999	-619	-443	-176	-12.8	-11.6	-17.6
七ヶ浜町	4,096	3,575	521	4,216	3,654	562	-120	-79	-41	-2.8	-2.2	-7.3
大和町	3,863	3,267	596	3,521	2,942	579	342	325	17	9.7	11.0	2.9
柴田町	3,353	2,749	604	3,720	3,001	719	-367	-252	-115	-9.9	-8.4	-16.0
石巻市	3,149	2,178	971	3,658	2,405	1,253	-509	-227	-282	-13.9	-9.4	-22.5
東松島市	2,221	1,742	479	2,423	1,795	628	-202	-53	-149	-8.3	-3.0	-23.7
松島町	2,142	1,819	323	2,454	2,046	408	-312	-227	-85	-12.7	-11.1	-20.8
山形市	1,949	1,035	914	1,803	926	877	146	109	37	8.1	11.8	4.2
大河原町	1,711	1,357	354	1,798	1,443	355	-87	-86	-1	-4.8	-6.0	-0.3
白石市	1,701	1,251	450	1,875	1,339	536	-174	-88	-86	-9.3	-6.6	-16.0
福島市	1,596	859	737	1,739	847	892	-143	12	-155	-8.2	1.4	-17.4
美里町	1,513	1,233	280	1,717	1,331	386	-204	-98	-106	-11.9	-7.4	-27.5
山元町	1,438	1,117	321	1,793	1,357	436	-355	-240	-115	-19.8	-17.7	-26.4
角田市	1,415	1,037	378	1,575	1,108	467	-160	-71	-89	-10.2	-6.4	-19.1
栗原市	1,296	913	383	1,542	1,085	457	-246	-172	-74	-16.0	-15.9	-16.2
登米市	1,258	894	364	1,627	1,103	524	-369	-209	-160	-22.7	-18.9	-30.5
川崎町	1,173	987	186	1,263	1,052	211	-90	-65	-25	-7.1	-6.2	-11.8
その他の市町村	13,851	9,562	4,289	15,741	10,808	4,933	-1,890	-1,246	-644	-12.0	-11.5	-13.1
計	127,307	103,745	23,562	131,984	106,132	25,852	-4,677	-2,387	-2,290	-3.5	-2.2	-8.9
(別掲)												
県内市町村	114,911	96,210	18,701	118,131	97,773	20,358	-3,220	-1,563	-1,657	-2.7	-1.6	-8.1
他県	12,396	7,535	4,861	13,853	8,359	5,494	-1,457	-824	-633	-10.5	-9.9	-11.5
うち 福島県	4,603	2,579	2,024	5,394	2,819	2,575	-791	-240	-551	-14.7	-8.5	-21.4
山形県	3,685	1,792	1,893	3,440	1,720	1,720	245	72	173	7.1	4.2	10.1
岩手県	1,569	1,026	543	1,782	1,116	666	-213	-90	-123	-12.0	-8.1	-18.5

*平成17年の値のうち斜体の値は、平成22年国勢調査時点の市域に組替えている。

5 市町村別にみた流出人口

仙台市を常住地として他市町村へ流出する15歳以上人口（従業地・通学地不詳を除く）51,697人について、通勤・通学地をみると、名取市が10,737人で最も多く、次いで多賀城市が6,335人、以下、富谷町が4,487人、岩沼市が3,767人、利府町が3,119人などとなっています。

これを前回と比較すると、県内は名取市が630人（6.2%）、塩竈市が128人（4.8%）の増加となっている一方、多賀城市が210人（3.2%）、大和町が170人（5.4%）の減少などとなっています。

流出先を県内、県外別にみると、県内が46,042人、県外が5,655人で、前回と比較すると、県内が194人（0.4%）、県外が1,700人（23.1%）の減少となっています。

表5 通勤・通学地別仙台市からの15歳以上人口流出人口

通勤・通学地	平成22年			平成17年			平成17年～22年の増減			増加率(%)		
	計	通勤	通学	計	通勤	通学	計	通勤	通学	計	通勤	通学
名取市	10,737	9,079	1,658	10,107	8,621	1,486	630	458	172	6.2	5.3	11.6
多賀城市	6,335	5,090	1,245	6,545	5,272	1,273	-210	-182	-28	-3.2	-3.5	-2.2
富谷町	4,487	4,084	403	4,374	3,903	471	113	181	-68	2.6	4.6	-14.4
岩沼市	3,767	3,437	330	3,852	3,525	327	-85	-88	3	-2.2	-2.5	0.9
利府町	3,119	2,917	202	3,221	2,976	245	-102	-59	-43	-3.2	-2.0	-17.6
大和町	2,969	2,537	432	3,139	2,686	453	-170	-149	-21	-5.4	-5.5	-4.6
塩竈市	2,786	2,526	260	2,658	2,393	265	128	133	-5	4.8	5.6	-1.9
大崎市	1,876	1,802	74	1,875	1,785	90	1	17	-16	0.1	1.0	-17.8
石巻市	1,334	1,068	266	1,364	1,089	275	-30	-21	-9	-2.2	-1.9	-3.3
柴田町	1,246	1,033	213	1,296	1,088	208	-50	-55	5	-3.9	-5.1	2.4
山形市	1,173	789	384	1,083	817	266	90	-28	118	8.3	-3.4	44.4
大衡村	723	722	1	685	685	0	38	37	1	5.5	5.4	-
亘理町	719	638	81	776	715	61	-57	-77	20	-7.3	-10.8	32.8
大河原町	708	642	66	783	713	70	-75	-71	-4	-9.6	-10.0	-5.7
白石市	699	648	51	753	692	61	-54	-44	-10	-7.2	-6.4	-16.4
福島市	662	541	121	744	640	104	-82	-99	17	-11.0	-15.5	16.3
松島町	594	487	107	579	461	118	15	26	-11	2.6	5.6	-9.3
村田町	494	479	15	530	516	14	-36	-37	1	-6.8	-7.2	7.1
角田市	480	477	3	582	580	2	-102	-103	1	-17.5	-17.8	50.0
川崎町	430	427	3	405	404	1	25	23	2	6.2	5.7	200.0
大郷町	375	374	1	449	446	3	-74	-72	-2	-16.5	-16.1	-66.7
郡山市	359	335	24	444	412	32	-85	-77	-8	-19.1	-18.7	-25.0
栗原市	347	346	1	405	404	1	-58	-58	0	-14.3	-14.4	0.0
その他の市町村	5,278	5,049	229	6,942	6,447	495	-1,664	-1,398	-266	-24.0	-21.7	-53.7
計	51,697	45,527	6,170	53,591	47,270	6,321	-1,894	-1,743	-151	-3.5	-3.7	-2.4
(別掲)												
県内他市町村	46,042	40,589	5,453	46,236	40,747	5,489	-194	-158	-36	-0.4	-0.4	-0.7
他県	5,655	4,938	717	7,355	6,523	832	-1,700	-1,585	-115	-23.1	-24.3	-13.8
うち 福島県	1,486	1,326	160	1,744	1,567	177	-258	-241	-17	-14.8	-15.4	-9.6
山形県	1,566	1,168	398	1,555	1,254	301	11	-86	97	0.7	-6.9	32.2
東京都	918	860	58	1,322	1,200	122	-404	-340	-64	-30.6	-28.3	-52.5

*平成17年の値のうち斜体の値は、平成22年国勢調査時点の市域に組替えている。従業地・通学地不詳を除く。

6 昼間人口の区別比較

昼間人口を区別にみると、青葉区の397,465人が最も多く、次いで宮城野区の210,699人、泉区の192,794人、太白区の184,725人、若林区の136,282人の順となっています。前回に比べ増加したのは泉区(13,534人、7.5%の増)、太白区(6,470人、3.6%の増)、宮城野区(6,361人、3.1%の増)、若林区(2,907人、2.2%の増)の4区で、青葉区(6,288人、1.6%の減)では減少しています。

次に、各区の昼夜間人口比率をみると、青葉区が136.4と最大で、宮城野区(110.6)、若林区(103.0)の3区で流入超過となっており、泉区(91.3)、太白区(83.7)では流出超過となっています。これを前回と比較すると、泉区で4.7ポイント、太白区で3.4ポイント、若林区で0.3ポイント上昇しており、青葉区で8.5ポイント、宮城野区で1.3ポイント低下しています。

図2 区別昼夜間人口及び昼夜間人口比率

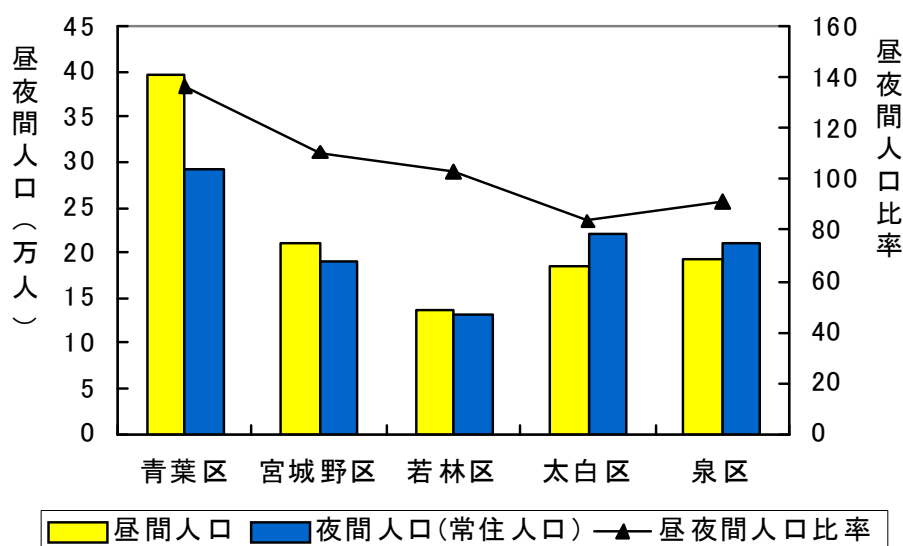


表6 区別昼夜間人口及び昼夜間人口比率

区別	夜間人口 (常住人口)	流入人口			流出人口			流入 超過 人口	昼間 人口	昼夜間 人口 比率
		市内 他区から	県内他 市町村から	県外から	市内 他区へ	県内他 市町村へ	県外へ			
平成22年										
全 市	1,045,986	183,197	115,460	12,422	183,197	46,243	5,660	75,979	1,121,965	107.3
青 葉 区	291,436	91,762	44,055	7,915	28,610	7,020	2,073	106,029	397,465	136.4
宮城野区	190,473	34,817	30,168	1,860	35,804	10,188	627	20,226	210,699	110.6
若 林 区	132,306	24,439	12,830	964	28,739	4,953	565	3,976	136,282	103.0
太 白 区	220,588	12,616	11,926	760	46,078	13,715	1,372	-35,863	184,725	83.7
泉 区	211,183	19,563	16,481	923	43,966	10,367	1,023	-18,389	192,794	91.3
平成17年										
全 市	1,020,160	209,029	118,696	13,868	209,029	46,384	7,359	78,821	1,098,981	107.7
青 葉 区	278,703	108,961	46,916	8,715	30,035	7,070	2,437	125,050	403,753	144.9
宮城野区	182,660	39,059	30,679	2,110	38,778	10,261	1,131	21,678	204,338	111.9
若 林 区	129,821	27,234	13,364	1,083	32,422	4,961	744	3,554	133,375	102.7
太 白 区	221,951	13,332	12,446	993	55,123	13,608	1,736	-43,696	178,255	80.3
泉 区	207,025	20,443	15,291	967	52,671	10,484	1,311	-27,765	179,260	86.6

* 夜間人口、昼間人口には労働力状態不詳を含む。

7 通勤・通学者の区間移動

通勤・通学者の区間移動をみると、泉区→青葉区（28,552人）が最大で、次いで太白区→青葉区（27,284人）以下、宮城野区→青葉区（20,669人）、若林区→青葉区（14,306人）が1万人を超える移動を示しています。

表7 通勤・通学者の区間移動

区別	移動先						
	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	計	
移動元	平成22年						
	青葉区	-	9,547	4,680	4,309	9,620	28,156
	宮城野区	20,669	-	7,849	2,315	4,535	35,368
	若林区	14,306	8,481	-	3,579	2,017	28,383
	太白区	27,284	7,864	7,502	-	3,072	45,722
	泉区	28,552	8,558	4,022	2,365	-	43,497
	計	90,811	34,450	24,053	12,568	19,244	181,126
	平成17年						
	青葉区	-	10,143	5,043	4,338	10,001	29,525
	宮城野区	22,690	-	8,516	2,433	4,697	38,336
	若林区	16,649	9,399	-	3,931	2,107	32,086
	太白区	33,665	9,106	8,732	-	3,320	54,823
	泉区	35,132	9,952	4,594	2,568	-	52,246
	計	108,136	38,600	26,885	13,270	20,125	207,016

8 年齢別にみた昼夜間人口比率

昼夜間人口比率を年齢階級別にみたものが表8です。仙台市全体では全ての年齢層で男女とも100を超え流入超過となっています。また、男女とも15～19歳が頂点（昼夜間人口比率 男118.7 女123.0）となっていますが、男は30歳以降からゆるやかに上昇し、55～59歳（118.3）でも再び高くなっています。

青葉区は、男女とも全ての年齢層で流入超過となっており、特に男の50～54歳は171.6、女の15～19歳は178.3など昼間人口が夜間人口の2倍近くとなっています。

太白区は男女とも全ての年齢層で流出超過、泉区では男が15～19歳を除く全ての年齢層、女は25歳以上の全ての年齢層で流出超過となっています。太白区の男が40～44歳で昼夜間人口比率が最も低い（59.6）のに対し、泉区の男は50～54歳及び55～59歳で最も低く（70.2）なっています。

宮城野区と若林区では、女はほぼ全ての年齢層において100前後で推移し（若林区の女20～24歳は74.3と流出超過）、宮城野区の男はすべての年齢層、若林区の男は25歳以上の全ての年齢層で流入超過となっています。

表8 区・年齢・男女別昼夜間人口及び昼夜間人口比率

年齢区分	男				女			
	夜間人口 (常住人口)	流入超過 人口	昼間人口	昼夜間 人口比率	夜間人口 (常住人口)	流入超過 人口	昼間人口	昼夜間 人口比率
仙台市	498,655	46,226	544,881	109.3	533,278	29,753	563,031	105.6
15歳未満	70,080	116	70,196	100.2	66,752	253	67,005	100.4
15～19	28,813	5,381	34,194	118.7	27,758	6,389	34,147	123.0
20～24	36,163	4,598	40,761	112.7	35,457	5,723	41,180	116.1
25～29	34,292	2,851	37,143	108.3	36,855	3,324	40,179	109.0
30～34	37,910	3,630	41,540	109.6	39,460	2,743	42,203	107.0
35～39	42,533	4,210	46,743	109.9	43,077	2,591	45,668	106.0
40～44	36,908	3,853	40,761	110.4	37,010	2,082	39,092	105.6
45～49	32,609	4,753	37,362	114.6	33,346	2,173	35,519	106.5
50～54	30,362	5,430	35,792	117.9	31,762	1,871	33,633	105.9
55～59	32,418	5,923	38,341	118.3	35,027	1,541	36,568	104.4
60～64	34,492	4,135	38,627	112.0	37,127	824	37,951	102.2
65歳以上	82,075	1,346	83,421	101.6	109,647	239	109,886	100.2
青葉区	135,936	57,787	193,723	142.5	148,629	48,242	196,871	132.5
15歳未満	17,378	282	17,660	101.6	16,408	348	16,756	102.1
15～19	8,759	4,661	13,420	153.2	8,151	6,382	14,533	178.3
20～24	13,746	7,158	20,904	152.1	12,715	8,416	21,131	166.2
25～29	9,712	4,440	14,152	145.7	10,481	6,110	16,591	158.3
30～34	9,750	5,300	15,050	154.4	10,634	5,536	16,170	152.1
35～39	10,718	6,430	17,148	160.0	11,297	5,237	16,534	146.4
40～44	9,518	6,011	15,529	163.2	9,967	4,087	14,054	141.0
45～49	8,699	5,725	14,424	165.8	9,197	3,660	12,857	139.8
50～54	7,956	5,699	13,655	171.6	8,769	3,062	11,831	134.9
55～59	8,449	5,925	14,374	170.1	9,270	2,718	11,988	129.3
60～64	8,955	4,315	13,270	148.2	9,945	1,813	11,758	118.2
65歳以上	22,296	1,841	24,137	108.3	31,795	873	32,668	102.7
宮城野区	92,760	18,933	111,693	120.4	96,336	1,293	97,629	101.3
15歳未満	13,323	174	13,497	101.3	12,783	-150	12,633	98.8
15～19	4,961	1,292	6,253	126.0	4,697	-423	4,274	91.0
20～24	5,707	103	5,810	101.8	6,128	-326	5,802	94.7
25～29	7,541	828	8,369	111.0	7,936	21	7,957	100.3
30～34	8,436	1,515	9,951	118.0	8,267	-1	8,266	100.0
35～39	8,854	2,291	11,145	125.9	8,466	285	8,751	103.4
40～44	7,323	2,078	9,401	128.4	6,687	480	7,167	107.2
45～49	6,249	2,386	8,635	138.2	5,951	489	6,440	108.2
50～54	5,756	2,509	8,265	143.6	5,333	527	5,860	109.9
55～59	5,631	2,738	8,369	148.6	5,840	304	6,144	105.2
60～64	5,814	2,183	7,997	137.5	5,987	129	6,116	102.2
65歳以上	13,165	836	14,001	106.4	18,261	-42	18,219	99.8

* 各計は年齢不詳を除く。

表8 区・年齢・男女別昼夜間人口及び昼夜間人口比率（続き）

年齢区分	男				女			
	夜間人口 (常住人口)	流入超過 人口	昼間人口	昼夜間人 口比率	夜間人口 (常住人口)	流入超過 人口	昼間人口	昼夜間人 口比率
若林区	63,805	5,894	69,699	109.2	66,333	-1,918	64,415	97.1
15歳未満	8,514	-6	8,508	99.9	8,319	68	8,387	100.8
15～19	3,235	-150	3,085	95.4	3,235	350	3,585	110.8
20～24	4,197	-781	3,416	81.4	4,206	-1,080	3,126	74.3
25～29	4,684	72	4,756	101.5	4,784	-582	4,202	87.8
30～34	5,163	410	5,573	107.9	5,146	-290	4,856	94.4
35～39	5,689	846	6,535	114.9	5,424	-87	5,337	98.4
40～44	4,922	864	5,786	117.6	4,692	-107	4,585	97.7
45～49	4,368	942	5,310	121.6	4,219	-54	4,165	98.7
50～54	4,069	1,041	5,110	125.6	3,851	-78	3,773	98.0
55～59	4,353	1,237	5,590	128.4	4,252	-51	4,201	98.8
60～64	4,392	968	5,360	122.0	4,427	-3	4,424	99.9
65歳以上	10,219	451	10,670	104.4	13,778	-4	13,774	100.0
太白区	105,895	-22,389	83,506	78.9	112,852	-13,474	99,378	88.1
15歳未満	15,619	-176	15,443	98.9	14,637	-177	14,460	98.8
15～19	5,813	-802	5,011	86.2	5,587	-1,123	4,464	79.9
20～24	6,879	-1,673	5,206	75.7	6,054	-1,454	4,600	76.0
25～29	6,424	-1,916	4,508	70.2	7,010	-1,482	5,528	78.9
30～34	7,673	-2,584	5,089	66.3	7,981	-1,659	6,322	79.2
35～39	8,940	-3,560	5,380	60.2	9,221	-1,860	7,361	79.8
40～44	7,915	-3,200	4,715	59.6	7,941	-1,577	6,364	80.1
45～49	6,737	-2,498	4,239	62.9	6,864	-1,250	5,614	81.8
50～54	6,312	-1,952	4,360	69.1	6,671	-998	5,673	85.0
55～59	6,970	-1,887	5,083	72.9	7,513	-886	6,627	88.2
60～64	7,408	-1,344	6,064	81.9	8,246	-658	7,588	92.0
65歳以上	19,205	-797	18,408	95.9	25,127	-350	24,777	98.6
泉区	100,259	-13,999	86,260	86.0	109,128	-4,390	104,738	96.0
15歳未満	15,246	-158	15,088	99.0	14,605	164	14,769	101.1
15～19	6,045	380	6,425	106.3	6,088	1,203	7,291	119.8
20～24	5,634	-209	5,425	96.3	6,354	167	6,521	102.6
25～29	5,931	-573	5,358	90.3	6,644	-743	5,901	88.8
30～34	6,888	-1,011	5,877	85.3	7,432	-843	6,589	88.7
35～39	8,332	-1,797	6,535	78.4	8,669	-984	7,685	88.6
40～44	7,230	-1,900	5,330	73.7	7,723	-801	6,922	89.6
45～49	6,556	-1,802	4,754	72.5	7,115	-672	6,443	90.6
50～54	6,269	-1,867	4,402	70.2	7,138	-642	6,496	91.0
55～59	7,015	-2,090	4,925	70.2	8,152	-544	7,608	93.3
60～64	7,923	-1,987	5,936	74.9	8,522	-457	8,065	94.6
65歳以上	17,190	-985	16,205	94.3	20,686	-238	20,448	98.8

* 各計は年齢不詳を除く。

9 市内に常住する就業者の産業・従業地別割合

仙台市に常住する就業者のうち、市内で就業する割合を産業3部門毎にみると、第1次産業が94.5%、第2次産業が79.9%、第3次産業が90.2%となっています。これを産業大分類別にみると、第1次産業のうち、「農業」は市内が95.4%で、うち自宅が76.0%と極めて高くなっており、一方「漁業」は市外が47.5%と半数近くを占めています。第2次産業では「鉱業、採石業、砂利採取業」、「製造業」で、市外の割合がそれぞれ24.6%、27.6%と高くなっています。第3次産業では全般的に市内の割合が高くなっていますが、そのうち「不動産業、物品賃貸業」では、自宅の割合が18.6%と、他の第3次産業と比較して高くなっています。一方で「宿泊業、飲食サービス業」と「医療、福祉」と「生活関連サービス業、娯楽業」では、自宅外の自区が、また「情報通信業」は他区が、いずれも50%を超えています。また、「運輸業、郵便業」は市外就業者の割合が15%を超え、第3次産業の中で比較的高くなっています。

表9 市内に常住する産業（大分類）・従業地別就業者数

産業大分類	総数	市内				市外	県内	他県	
		自宅	自宅外の自区	他区					
		実数							
全産業	459,480	405,955	29,093	217,006	159,856	45,527	40,589	4,938	
（第1次産業）	4,005	3,783	2,928	670	185	216	187	29	
農業	3,819	3,642	2,904	584	154	171	149	22	
林業	127	110	5	74	31	17	15	2	
漁業	59	31	19	12	-	28	23	5	
（第2次産業）	67,162	53,684	5,454	27,086	21,144	12,152	10,783	1,369	
鉱業、採石業、砂利採取業	61	43	1	36	6	15	15	-	
建設業	37,336	32,597	3,999	16,027	12,571	3,912	2,978	934	
製造業	29,765	21,044	1,454	11,023	8,567	8,225	7,790	435	
（第3次産業）	372,941	336,351	19,499	180,797	136,055	32,483	29,031	3,452	
電気・ガス・熱供給・水道業	3,967	3,490	-	1,824	1,666	429	274	155	
情報通信業	16,695	15,838	568	6,635	8,635	677	365	312	
運輸業、郵便業	26,850	22,118	798	11,644	9,676	4,266	3,923	343	
卸売業、小売業	97,709	88,560	5,178	48,387	34,995	8,005	7,196	809	
金融業、保険業	14,705	13,622	442	6,073	7,107	927	779	148	
不動産業、物品賃貸業	12,562	11,775	2,342	5,259	4,174	587	505	82	
学術研究、専門・技術サービス業	18,408	17,009	2,682	7,279	7,048	1,209	932	277	
宿泊業、飲食サービス業	32,172	30,293	1,461	19,605	9,227	1,597	1,458	139	
生活関連サービス業、娯楽業	17,473	15,959	2,013	8,766	5,180	1,302	1,236	66	
教育、学習支援業	28,914	25,032	1,051	13,543	10,438	3,713	3,439	274	
医療、福祉	49,176	43,954	1,264	26,706	15,984	4,838	4,571	267	
複合サービス事業	1,939	1,667	3	837	827	254	242	12	
サービス業 （他に分類されないもの）	34,555	31,526	1,689	15,658	14,179	2,557	2,353	204	
公務（他に分類されるものを除く）	17,816	15,508	8	8,581	6,919	2,122	1,758	364	

* 全産業には「分類不能の産業」を含む。総数には「従業地」不詳を含む。

表9 市内に常住する産業（大分類）・従業地別就業者数（続き）

産業大分類	総数	市内				市外		
		自宅	自宅外の 自区	他区	市内	県内	他県	
		割合（％）						
全産業	100.0	88.4	6.3	47.2	34.8	9.9	8.8	1.1
（第1次産業）	100.0	94.5	73.1	16.7	4.6	5.4	4.7	0.7
農業	100.0	95.4	76.0	15.3	4.0	4.5	3.9	0.6
林業	100.0	86.6	3.9	58.3	24.4	13.4	11.8	1.6
漁業	100.0	52.5	32.2	20.3	-	47.5	39.0	8.5
（第2次産業）	100.0	79.9	8.1	40.3	31.5	18.1	16.1	2.0
鉱業，採石業，砂利採取業	100.0	70.5	1.6	59.0	9.8	24.6	24.6	-
建設業	100.0	87.3	10.7	42.9	33.7	10.5	8.0	2.5
製造業	100.0	70.7	4.9	37.0	28.8	27.6	26.2	1.5
（第3次産業）	100.0	90.2	5.2	48.5	36.5	8.7	7.8	0.9
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	88.0	-	46.0	42.0	10.8	6.9	3.9
情報通信業	100.0	94.9	3.4	39.7	51.7	4.1	2.2	1.9
運輸業，郵便業	100.0	82.4	3.0	43.4	36.0	15.9	14.6	1.3
卸売業，小売業	100.0	90.6	5.3	49.5	35.8	8.2	7.4	0.8
金融業，保険業	100.0	92.6	3.0	41.3	48.3	6.3	5.3	1.0
不動産業，物品賃貸業	100.0	93.7	18.6	41.9	33.2	4.7	4.0	0.7
学術研究，専門・技術サービス業	100.0	92.4	14.6	39.5	38.3	6.6	5.1	1.5
宿泊業，飲食サービス業	100.0	94.2	4.5	60.9	28.7	5.0	4.5	0.4
生活関連サービス業，娯楽業	100.0	91.3	11.5	50.2	29.6	7.5	7.1	0.4
教育，学習支援業	100.0	86.6	3.6	46.8	36.1	12.8	11.9	0.9
医療，福祉	100.0	89.4	2.6	54.3	32.5	9.8	9.3	0.5
複合サービス事業	100.0	86.0	0.2	43.2	42.7	13.1	12.5	0.6
サービス業 （他に分類されないもの）	100.0	91.2	4.9	45.3	41.0	7.4	6.8	0.6
公務（他に分類されるものを除く）	100.0	87.0	0.0	48.2	38.8	11.9	9.9	2.0

* 全産業には「分類不能の産業」を含む。総数には「従業地」不詳を含む。

10 常住地・従業地による産業別就業者数

仙台市の就業者を3分類し、かつ産業大分類別にみたものが表10と図3です。「市内常住・市内就業者」「流入就業者」「流出就業者」の別に、就業者の産業別傾向をみると、「市内常住・市内就業者」で最も割合が高いのは「卸売業、小売業」であり、次に高いのは「医療、福祉」となっています。

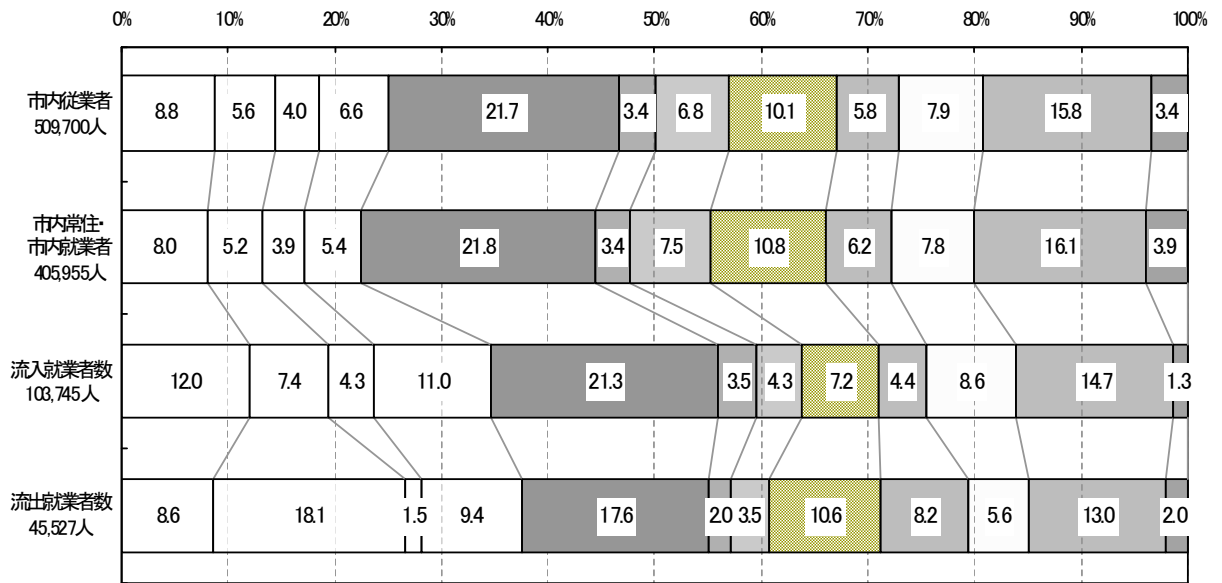
「流入就業者」でも「卸売業、小売業」が最も高くなっていますが、次に「建設業」「運輸業、郵便業」の順となっています。「流出就業者」は「製造業」が最も高く、次に「卸売業、小売業」が高くなっています。

表10 本市を従業地とする産業（大分類）別就業者数

産業分類	市内従業者		市内常住・市内就業者		流入就業者		流出就業者	
	総数	構成比 %	総数	構成比 %	総数	構成比 %	総数	構成比 %
全産業	509,700	100.0	405,955	100.0	103,745	100.0	45,527	100.0
(第1次産業)	4,013	0.8	3,783	0.9	230	0.2	216	0.5
農業	3,791	0.7	3,642	0.9	149	0.1	171	0.4
林業	181	0.0	110	0.0	71	0.1	17	0.0
漁業	41	0.0	31	0.0	10	0.0	28	0.1
(第2次産業)	73,793	14.5	53,684	13.2	20,109	19.4	12,152	26.7
鉱業、採石業、砂利採取業	54	0.0	43	0.0	11	0.0	15	0.0
建設業	45,018	8.8	32,597	8.0	12,421	12.0	3,912	8.6
製造業	28,721	5.6	21,044	5.2	7,677	7.4	8,225	18.1
(第3次産業)	418,664	82.1	336,351	82.9	82,313	79.3	32,483	71.3
電気・ガス・熱供給・水道業	4,615	0.9	3,490	0.9	1,125	1.1	429	0.9
情報通信業	20,295	4.0	15,838	3.9	4,457	4.3	677	1.5
運輸業、郵便業	33,531	6.6	22,118	5.4	11,413	11.0	4266	9.4
卸売業、小売業	110,697	21.7	88,560	21.8	22,137	21.3	8005	17.6
金融業、保険業	17,283	3.4	13,622	3.4	3,661	3.5	927	2.0
不動産業、物品賃貸業	13,929	2.7	11,775	2.9	2,154	2.1	587	1.3
学術研究、専門・技術サービス業	20,967	4.1	17,009	4.2	3,958	3.8	1,209	2.7
宿泊業、飲食サービス業	34,741	6.8	30,293	7.5	4,448	4.3	1,597	3.5
生活関連サービス業、娯楽業	18,965	3.7	15,959	3.9	3,006	2.9	1,302	2.9
教育、学習支援業	29,605	5.8	25,032	6.2	4,573	4.4	3,713	8.2
医療、福祉	51,385	10.1	43,954	10.8	7,431	7.2	4838	10.6
複合サービス事業	2,071	0.4	1,667	0.4	404	0.4	254	0.6
サービス業（他に分類されないもの）	40,419	7.9	31,526	7.8	8,893	8.6	2557	5.6
公務（他に分類されるものを除く）	20,161	4.0	15,508	3.8	4,653	4.5	2,122	4.7

* 全産業には「分類不能の産業」を含む。

図3 流入・流出就業者の産業別割合



- 建設業
- 製造業
- 情報通信業
- 運輸業 郵便業
- 卸売業 小売業
- 金融業 保険業
- 宿泊業 飲食サービス業
- 医療 福祉
- 教育 学習支援業
- サービス業 (他に分類されないもの)
- その他第3次産業
- その他 (分類不能の産業含む)

11 利用交通手段

仙台市に常住する15歳以上の自宅外通勤・通学者は497,217人で、これを利用交通手段別にみると、自家用車の利用者が199,947人（通勤・通学者の40.2%）で最も多く、以下、自転車の利用者が64,687人（同13.0%）、鉄道・電車の利用者が56,482人（11.4%）、徒歩だけが46,370人（同9.3%）、乗合バスが38,266人（同7.7%）と続いています。

各区に常住する通勤・通学者の利用交通手段別割合を比較すると、徒歩だけの割合が最も高いのは青葉区（13.9%）で、鉄道・電車の割合が高いのは宮城野区（14.5%）と太白区（14.9%）、乗合バスの割合が高いのは青葉区（10.4%）と若林区（10.1%）、自家用車の割合が高いのは泉区（48.4%）、自転車の割合が高いのは若林区（19.4%）、鉄道・電車と乗合バスの割合が高いのは泉区（8.0%）などとなっています。

表 11 仙台市に住む15歳以上通勤・通学者の利用交通手段別（区別）

利用交通手段		通勤・通学者数（人）					
		全市	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区
総数		497,217	139,273	91,516	61,307	103,322	101,799
Ⅰ 交通手段が1種類	小計	432,096	121,634	82,038	55,363	89,157	83,904
	1徒歩だけ	46,370	19,412	8,693	5,657	6,250	6,358
	2鉄道・電車	56,482	14,391	13,264	3,572	15,425	9,830
	3乗合バス	38,266	14,441	4,486	6,180	7,458	5,701
	4勤め先・学校のバス	2,276	610	258	157	446	805
	5自家用車	199,947	43,709	37,819	25,316	43,840	49,263
	6ハイヤー・タクシー	651	397	65	52	80	57
	7オートバイ	16,481	5,408	2,343	1,675	3,827	3,228
	8自転車	64,687	21,370	14,085	11,899	10,162	7,171
	9その他	6,936	1,896	1,025	855	1,669	1,491
Ⅱ 交通手段が2種類	小計	50,115	12,772	7,607	4,487	11,129	14,120
	10鉄道・電車と乗合バス	19,609	3,909	2,530	1,111	3,878	8,181
	11鉄道・電車及び勤め先・学校のバス	524	180	93	36	135	80
	12鉄道・電車及び自家用車	4,099	870	483	136	1,067	1,543
	13鉄道・電車及びオートバイ	821	240	111	38	168	264
	14鉄道・電車及び自転車	10,142	2,167	2,524	914	3,123	1,414
Ⅲ利用交通手段が3種類以上	15その他利用交通手段が2種類	14,920	5,406	1,866	2,252	2,758	2,638
6,117	1,817	705	599	1,434	1,562		

* 総数には利用交通手段不詳を含む。

表 11 仙台市に住む 15 歳以上通勤・通学者の利用交通手段別（区別）（続き）

利用交通手段		割合（％）					
		全市	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区
総 数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Ⅰ 交 通 手 段 が 1 種 類	小計	86.9	87.3	89.6	90.3	86.3	82.4
	1徒歩だけ	9.3	13.9	9.5	9.2	6.0	6.2
	2鉄道・電車	11.4	10.3	14.5	5.8	14.9	9.7
	3乗合バス	7.7	10.4	4.9	10.1	7.2	5.6
	4勤め先・学校のバス	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4	0.8
	5自家用車	40.2	31.4	41.3	41.3	42.4	48.4
	6ハイヤー・タクシー	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
	7オートバイ	3.3	3.9	2.6	2.7	3.7	3.2
	8自転車	13.0	15.3	15.4	19.4	9.8	7.0
	9その他	1.4	1.4	1.1	1.4	1.6	1.5
Ⅱ 交 通 手 段 が 2 種 類	小計	10.1	9.2	8.3	7.3	10.8	13.9
	10鉄道・電車と乗合バス	3.9	2.8	2.8	1.8	3.8	8.0
	11鉄道・電車及び勤め先・学校のバス	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	12鉄道・電車及び自家用車	0.8	0.6	0.5	0.2	1.0	1.5
	13鉄道・電車及びオートバイ	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3
	14鉄道・電車及び自転車	2.0	1.6	2.8	1.5	3.0	1.4
15その他利用交通手段が2種類	3.0	3.9	2.0	3.7	2.7	2.6	
Ⅲ利用交通手段が3種類以上		1.2	1.3	0.8	1.0	1.4	1.5

* 総数には利用交通手段不詳を含む。

12 大都市の流入・流出人口

仙台市への流入人口は127,882人で20大都市（政令指定都市及び東京都区部）中11番目となっているものの、流入超過人口は75,979人で20大都市中6位、昼夜間人口比率でも107.3で6位となっています。昼夜間人口比率が最も高いのは大阪市で132.8、次いで東京都区部の130.9となっており、東京近郊のさいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、相模原市では、昼夜間人口比率が100以下となっています。

表 12 大都市の昼間人口

都市名	夜間人口 (常住人口)	流入人口	流出人口	流入超過人口	昼間人口	昼夜間 人口比率
	(A)	(B)	(C)	(D=B-C)	(E=A+D)	(E/A×100)
仙 台 市	1,045,986	127,882	51,903	75,979	1,121,965	107.3
札 幌 市	1,913,545	80,498	68,508	11,990	1,925,535	100.6
さいたま市	1,222,434	216,565	305,021	-88,456	1,133,978	92.8
千 葉 市	961,749	170,001	193,602	-23,601	938,148	97.5
東京都区部	8,945,695	3,169,438	403,596	2,765,842	11,711,537	130.9
川 崎 市	1,425,512	235,110	384,994	-149,884	1,275,628	89.5
横 浜 市	3,688,773	410,298	723,741	-313,443	3,375,330	91.5
相 模 原 市	717,544	80,640	167,752	-87,112	630,432	87.9
新 潟 市	811,901	48,962	34,661	14,301	826,202	101.8
静 岡 市	716,197	51,759	28,372	23,387	739,584	103.3
浜 松 市	800,866	42,565	44,809	-2,244	798,622	99.7
名 古 屋 市	2,263,894	495,614	190,132	305,482	2,569,376	113.5
京 都 市	1,474,015	235,624	110,602	125,022	1,599,037	108.5
大 阪 市	2,665,314	1,113,574	240,312	873,262	3,538,576	132.8
堺 市	841,966	118,658	166,117	-47,459	794,507	94.4
神 戸 市	1,544,200	211,008	171,443	39,565	1,583,765	102.6
岡 山 市	709,584	76,505	47,021	29,484	739,068	104.2
広 島 市	1,173,843	88,845	64,341	24,504	1,198,347	102.1
北 九 州 市	976,846	73,811	47,000	26,811	1,003,657	102.7
福 岡 市	1,463,743	247,137	73,067	174,070	1,637,813	111.9

* 夜間人口、昼間人口には労働力状態不詳を含む。

平成22年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計結果

統計表

[従業地・通学地による人口]

- ・第1表 常住地又は従業地・通学地による年齢（5歳階級）、男女別人口及び就業者数（有配偶の女性就業者－特掲）

[従業地・通学地と常住地]

- ・第2表 常住地による従業・通学市区町村，15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数（15歳未満通学者を含む通学者－特掲）
- ・第3表 従業地・通学地による常住市区町村，15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数（15歳未満通学者を含む通学者－特掲）
- ・第4表 常住地又は従業地による配偶関係（3区分）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数（雇用者－特掲）

[産業]

- ・第5表 常住地又は従業地による産業（大分類）、15歳以上就業者数（雇用者－特掲）
- ・第6表 常住地による従業市区町村，産業（大分類）別15歳以上就業者数
- ・第7表 従業地による常住市区町村，産業（大分類）別15歳以上就業者数
- ・第8表 従業地による産業（大分類）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数（総数及び雇用者）

[利用交通手段]

- ・第9表 常住地又は従業地・通学地による利用交通手段（16区分）別15歳以上自宅外就業者・通学者数
- ・第10表 常住地又は従業地・通学地による利用交通手段（9区分）別15歳以上自宅外就業者・通学者数
- ・第11表 常住地による従業・通学市区町村，利用交通手段（9区分）別15歳以上自宅外就業者・通学者数
- ・第12表 従業地・通学地による常住市区町村，利用交通手段（9区分）別15歳以上自宅外就業者・通学者数